

シラバス詳細

タイトル「2024年度シラバス」、カテゴリ「経済経営学類」

科目情報

< 2/7件 >

科目名

Fukushima's History and Culture I

講義名

Fukushima's History and Culture I

クラス

担当教員

クルト・ヨースト・ワウター(r449@ipc.fukushima-u.ac.jp)

実務経験のある教員による講義

学年

2年、3年、4年

キャンパス区分

金谷川キャンパス

開講学期

後期

開講時期

(後期)

曜日・時限

水2

講義室

講義室未設定

科目種別

通常講義(学類)

ナンバリング

z0300140

科目区分

自由領域科目(学類)

単位区分

自由

単位数

2

準備事項**備考****特修プログラム****直接参照URL**

https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047340156482&formatCD=1

授業方法

講義、グループワーク、発表、ディスカッション、フィールドワーク

講義情報

授業概要とねらい

- 1) 英語で福島の（主に震災後の）歴史、復興、そして文化を総括的に理解できる
- 2) 福島のレジリエンスについて他人に英語で紹介できる。
- 3) 福島の現在の話題を過去の歴史的出来事とつなげる事ができる。

単位認定基準

1. 多国籍、多文化のセッティングで積極的・調和的にグループワークができる。
2. 福島の内外の様々な「縁」そしてその概念をよく理解している。
3. ICT手段で正確かつ分かりやすく発信できる。

授業計画

授業計画（週形式）

- 1) イントロダクション
- 2) 福島のオリエンテーション：歴史と文化
- 3) 福島における（原子力）エネルギーの歴史
- 4) 3.11の出来事
- 5) 避難生活と賠償
- 6) 放射能と除染
- 7) 中間発表
- 8) ゲスト講義
- 9) コミュニティ再生
- 10) 農業と漁業
- 11) 1Fの廃炉
- 12) メディア、風評とコミュニケーション
- 13) 現在の福島：文化とレジリエンス
- 14) 質疑応答・論文作成
- 15) まとめのセッション

教材・教科書

All necessary readings will be provided by the teacher.

参考図書

Fukushima, Its Past and Present, Communicating lessons learned from the March 11th disaster (Fukushima Prefecture Tourism and Local Products Association)

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

Based on the credit system, a minimum of 60 hours of out-of-class study time is required. Expected activities include:(1) Collecting literature and materials related to the course content in advance, (2) Reflection reports and quizzes, (3) Field work on selected weekends

成績評価の方法

学生発表 Student Presentations 40%
授業内課題 In-class Assignments 20%
最終試験 Final Paper 40%

成績評価の基準

- S: 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた (90~100点)
- A: 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた (80~89点)
- B: 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた (70~79点)
- C: 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた (60~69点)
- F: 単位認定基準の学修成果をあげられなかった (~59点)

オフィスアワー

金曜、3・4限目(事前予約は必須)

授業改善・工夫

授業の内容とペースは受講者の語学レベルに応じて順次調整されます。

留意点・注意事項

日本人学生の参加は大歓迎ですが、コースが英語で行われますのでご注意ください。

教員の実務経験の有無